

会 議 録

◇詳細—文化観光課観光交流グループ 電話03-3981-1316

附属機関又は 会議体の名称		第1回（仮称）マンガの聖地としまミュージアム整備検討会議
事務局(担当課)		文化商工部文化観光課
開催日時		平成28年9月8日(木) 19時00分～21時00分
開催場所		庁議室(本庁舎5階)
会議次第		1 開 会 2 区長挨拶 3 座長挨拶 4 委員紹介 5 副座長指名 6 議 事 (1) 審議の進め方について (2) 南長崎マンガランド事業について (3) (仮称)マンガの聖地としまミュージアムの考え方について
公開の 可否	会議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 非公開・一部非公開の場合は、その理由
		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 非公開・一部非公開の場合は、その理由
		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	里中座長、秋田副座長、幸森委員、湯本委員、鈴木委員、水野委員、山内委員、栗原氏(阪下委員代理)、寺田委員、羽場委員、酒井委員、小出委員、小林委員、東澤委員、石橋委員、小澤委員、石井委員、上野委員、近藤委員、樋口委員、小椋委員、小堤委員 計22名 オブザーバー:一般社団法人マンガジャパン(山田氏、木村氏) 欠席者 丸山委員、よこた委員、足立委員、蒔田委員、保木井委員 計5名
	事務局	文化商工部文化観光課

審議経過

委員Y： これより第1回（仮称）マンガの聖地としまミュージアム整備検討会議を開始いたします。本日は第1回でございますので、後ほど座長からもご挨拶をいただきますが、それまでの間、私が進行を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。また、区の記録等の関係上、写真撮影及び録音、部分的に映像での記録をさせていただきたいと思っておりますのでご了承ください。なお、本日は、マスコミ関係者が傍聴しております。冒頭でのカメラ撮りを行わせていただきますが、よろしいでしょうか。

一同： ～了承～

委員Y： それでは開会のあいさつを区長よりお願いたします。

高野区長： みなさんこんばんは。豊島区長の高野でございます。わたくしたちの長年の悲願でありましたマンガの聖地としまミュージアムの検討会議第1回が開催されますことを本当に喜ばしく思い、感謝いたします。委員の皆様には本当にお忙しい中、時間も遅く、このようにお集まりいただき、感謝とお礼を申し上げます。顔ぶれを拝見しますと、マンガ・アニメや地域活動に精通された皆様ばかりで大変頼もしく思っております。この検討会議で忌憚のないご意見を頂き、子どもも大人も楽しめるトキワ荘復元施設がマンガ・アニメミュージアムとして完成することを期待しております。現在の南長崎3丁目にありましたトキワ荘は、昭和27年12月に完成し、数多くの昭和を代表するマンガ家が青春時代を過ごしながら、マンガを描き続けた伝統のアパートであります。昭和57年には、大変惜しむ声がある中で、施設の老朽化をもとにやむを得ず解体されました。大変記憶に残っている方々もいらっしゃると思います。平成21年に南長崎花咲公園の記念碑「トキワ荘のヒーローたち」をはじめ、昭和24年にモニュメントを創らせて頂き、地元の皆様のご協力をもって完成したわけですが、平成25年には、トキワ荘のお休み処が整備できました。また、昨年度は南長崎マンガランド事業として、豊島区ゆかりのマンガのキャラクターモニュメントの設置あるいは、トキワ荘等に関する基礎調査などを行いました。これは私もすべて読みましたが、まさに、トキワ荘を早く作ってくれという思いの詰まった調査結果報告書ではないかと思っています。今まで、南長崎地域のマンガによるまちづくりを皆さまと共に進めてきました。まさに肝心のトキワ荘復元は、十数年、なかなかできることができなかつたわけですが、いよいよ地域の方々や委員A先生に大変なご協力、ご理解を頂き、ここまで来た訳で、まさに画竜点睛を欠いている思いがあったわけですが、いよいよ目玉が入ると思ひ、大変うれしく心躍る思ひです。これまで、数々のイベントを行い、その中でいつも言われることは、豊島区に素晴らしいトキワ荘というものがあったのに、なんで復元できないのかと全国の方々からお声をいただきながら、復元に向かってなかなか条件が整わなかつたのは、わたしの力不足もあつたかもしれませんが、いよいよ時が来たのかなと思います。豊島区にとって今回のトキワ荘の復元はまさに2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて、豊島区がいま進めている国際アート・カルチャー都市としての存在感を高めるべく、舵を切ることになつたわけでございます。2020年には外国の観光客も多くいらっしゃる、日本のマンガ・アニメに大変期待を持っていらっしゃる方々に対して、マンガの原点であるトキワ荘なくして語れないのではないかと思います。多くの来街者をこの南長崎に迎えてマンガの聖地としまを広く世界にむけてPRするには、このタイミングでスタートを切れないと決断したわけでございます。このタイミングを逃しては、トキワ荘の復元のチャンスは2度と来ないというくらい重大な決意をもって今進めているところですので、ぜひ皆様いろんな面でお力を頂いて作りあげていかないとと思ひます。重ね重ね、皆様のお力をお貸しく

ださることを切にお願いし、本プロジェクトの成功を祈念して挨拶とさせていただきます。

委員Y： 高野区長ありがとうございました。続きまして、座長よりご挨拶をいただきます。

委員A： 座長を務めさせていただくのは、私には相応しくないのではないかと少し迷いました。本当に尊敬すべき先輩たちに私は憧れているので、一生懸命私なりに後を追いたくこの世界に入りました。そういう方々を差し置いてというのはいかなものかと思いましたが、代表として一生懸命トキワ荘の魂を形にすべく、努力したいと思います。本当に、マンガを描いているだけで変人扱いされる時代が長く続きました。そんな時代に、日本の青少年たち少女たちに本当に豊かな夢を与えてくれるマンガの世界、本当に素晴らしい世界だと思っております。ただそこには開拓者がいなければ、やがて後に続く文化も生まれなかったわけです。トキワ荘にどうして多くの天才が集ったかという、慣れない環境に出てきて、お互いに分からないこともあるから一緒に暮らそうということだったのかと思います。しかし若い時代に刺激し合うということは同じ夢を見る子どもたちにとってどれだけ素晴らしいことか。もちろん、マンガの聖地と言われるところは、トキワ荘だけではないかもしれません。ただ、中でもとりわけこのトキワ荘というのは日本のマンガの歴史にとっては本当に象徴的な場だと思っております。解体されたのは非常に残念で、当時なぜ何もできなかったのかという声が仲間たちにはありました。今こうして復元、そして多くの人に、あの時代あそこに集った若い人たちの夢と情熱を知ってもらうことができる施設ができることを嬉しく思います。形があればいいというものではありませんので、なぜ若者たちがお互いに刺激し合うことで文化が生まれていったのかという部分も大切にしていきたいと思っています。今ならまだ間に合います。これが100年後では日本のマンガの原点というべき時代があいまいになってしまいます。本当に今復元して下さる豊島区に感謝すると共に、皆さんのお力を借り、できる限りの力を尽くして素晴らしい文化を後世に残していきたいと思っております。

委員Y： それではこれより検討会議委員の皆様を紹介させていただきます。

【委員等紹介】

委員Y： それではこれより座長に進行をお任せします。まず、副座長の指名からお願いできればと存じます。

【副座長指名】

委員A： 本日の傍聴希望者はいらっしゃいますか。

事務局： 本日の傍聴は2名です。また、マスコミの方々の撮影はこれまでとなりますのでご退出ください。

～傍聴者2名入室・マスコミ退出～

委員A： それでは議事に入りたいと思いますが、その前に検討会議の運営について確認したいと思います。検討会議の時間ですが、1回あたり2時間とさせていただきたいと思っております。開始時間は本日と同様に午後7時とさせていただきます。限られた時間の中で委員の皆様にご意見をいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。以上で、この検討委員会の運営に関しての、基本的な約束事についての確認を終わりたいと思っております。

それでは、議事には入ります。まず、審議の進め方について、事務局より説明をお願いします。

事務局： それでは、資料1-2、南長崎マンガランドについて資料1-3から1-5でご説明させていただきます。まず資料1-2をご確認ください。こちらが28年度の新規スケジュール案となっております。本日はまず南長崎マンガランド事業について説明させていただき、その後にミュージアムについて基本的な考え方の案5点をお示し致します。最後にミュージアムについ

て、おひとり3分意見を頂戴いたします。第2回以降の検討委員会は月に1回程度を予定しております。第2回は、今回いただいた意見のまとめとワークショップによる検討を予定しております。第3回11月上旬を予定しており、1月下旬に素案をまとめる予定としております。2月下旬から3月にパブリックコメントを行います。7回で基本計画案をとりまとめたと思います。

資料1-3をご覧ください。こちらは南長崎マンガランドの展開図となっております。図面左下が南長崎花咲公園です。資料1-4はオープンまでのスケジュールです。東京オリンピックの前年度末までに開館を目指します。資料1-5は面積の規模について示しております。資料の概要説明は以上です。

委員A： 資料について質問はありませんか。

一同： ~質問なし~

委員A： それでは、(3)(仮称)マンガの聖地としまミュージアムの考え方について、事務局より説明をお願いいたします。

委員Y： まず、資料1-6と資料1-7をご覧ください。マンガの聖地としまミュージアム施設整備の基本的な考え方について案としてコンセプトをお示したものとなります。今後検討会議の中でこういったことにつきましてご議論いただきたいと思います。1点目として、マンガの聖地の象徴となるような施設を目指し、当時のトキワ荘を彷彿とさせる施設の整備を目指します。2点目については、池袋といえばアニメといいますが、現代アニメの原点はマンガ、マンガの原点はトキワ荘です。トキワ荘でご活躍されたマンガ家の皆様はアニメの制作にも関わっていたということもありますので、マンガとアニメをつなげる施設とします。3点目として、マンガ・アニメ文化を世界へ発信するとともに、東京オリンピック・パラリンピック開催前の2019年度末までに開館を予定しております。マンガ・アニメの文化を世界に向けて発信するような施設にしたいと考えております。また、4点目としては地域から愛される地域と一体となった拠点施設を目指すというものです。5点目は、マンガ家の方々の作品を中心に、子どもからお年寄りまで幅広い年代層が楽しむことができる、何度でも訪れたくなるようなアミューズメント性の高い施設を目指すというものです。

次に、資料1-7をご覧ください。左側が最終成果品として作成する基本計画案の主な内容です。先ほどもご説明しましたが、今年度3月には基本計画を作成することとなっております。基本計画に策定する主な内容として、現時点で想定しているのが①から⑤基本理念のコンセプトから事業計画、活動計画、展示計画、施設整備計画、こういったことが最終的な整備計画の案に盛り込むべき内容と考えております。また、本検討会議においては、マンガ家の方々の居室の再現も検討課題となってきます。ほかにも、施設が出来上がった後の、管理運営をどうしていくのかということも論点として挙げさせていただいております。右側の①から⑯まで委員の皆様に検討いただければと思います。

委員A： 参考資料について事務局説明をお願いいたします。

事務局： 参考資料1-2については、20の施設について一覧で示しています。3ページ目、4ページ目については青梅赤塚不二夫会館をまとめており、施設規模がトキワ荘と近いため紹介しております。赤塚会館については、地域の皆様方と共に、先日8月30日に視察に行きました。赤塚会館の経緯としては、平成3年から青梅塾アートフェスティバルが開催されており、最初は赤塚会館ではなく昭和レトロの商品博物館というものを開設することが決まっていた。そして平成11年では「昭和」がテーマとなり、その流れの中で昭和レトロ商品博物館がオー

ブンしています。また同じイベントの中で、平成14年に「元気」をテーマにした際に、赤塚先生の作品が挙がりました。当時青梅には3、4館映画館がありましたが、赤塚先生が映画館の看板師をしていたことがご縁で赤塚会館が青梅に10月に開館しました。資料の4ページ目に具体的な赤塚会館の展示を写真で紹介しています。生い立ちのパネルやマンガキャラ紹介、当時のトキワ荘内部の再現など、幅広い年代が何度も足を運んで楽しめる施設なので、豊島区が目指していくミュージアムに近いということもあるかと思いい紹介させて頂きました。新潟市マンガ・アニメ情報館については、丹青社よりご説明をお願いします。

丹青社： それでは、資料5、6ページ目をご覧ください。新潟市マンガ・アニメ情報館という施設です。新潟市はマンガの町ということで、地域全体でアニメを盛り上げている町です。また、マンガ・アニメ情報館を拠点とし、他にも新潟市マンガの家という施設があります。こちらは若手育成なども重視した施設となっております。いくつかの施設をうまくつなぎながら、また新潟市全体を使うことで全国から人が集まるような大きなフェスティバルも開催しており、地域全体をめぐるような事例ということで挙げさせていただきました。詳しくはまた中身をご覧くださいますようお願いいたします。

委員A： ありがとうございます。資料の紹介は以上です。ではこれより、短く恐縮ですが、おひとり3分で自由にご意見を頂戴できればと思います。3分で何も言えないということもあるかもしれませんが、もしそれ以上にご意見があるときは事務局宛てにいつでもメールもしくはFAXでご連絡ください。事務局で整理し、次回以降の委員会で反映したいと思います。

委員B： 赤塚会館や新潟マンガ・アニメ情報館の事例には収蔵庫はあるのでしょうか。いろんな貴重なものを借りることになると思います。資料を受け入れる場合、収蔵庫の程度で借りられるもののレベルが変わってきます。収蔵庫についてはもう少し詳細な資料があれば頂きたいと思いました。

事務局： 可能な限り調べ、記載できるようにしたいと思います。

委員C： 2つお話ししたいことがあります。ここにいらっしゃる方々はトキワ荘がどのようなものか良くお分かりと思いますが、20歳前後の人には分からないので、若い方々や外国の方々、誰が来てもここがどういう施設なのか分かってもらうために、トキワ荘がもつ歴史的な価値や意味を公開する必要があります。また、2点目として他のミュージアムは著作権使用料はどうなっているのでしょうか。本来は著作物を使用する際は一定の対価として著作権使用料が発生します。いつまでもマンガ家の先生に「(無償で)協力してください」ということではいけません。しっかりと確認して進めないといけません。著作権侵害だという話にならないように。

委員D： 今日は弊社のスタンスをお話するために参加しました。現段階で弊社としましては、賛成でも反対でもありません。協力、非協力でもありません。外観がトキワ荘ではなく普通のミュージアムの体裁となっていて、ネーミングも「マンガの聖地としまミュージアム」であれば前向きに協力させていただきますが、トキワ荘の外観を再現する施設やトキワ荘と名前のつくネーミングの施設については、手塚治虫の後に残った方々が歴史を作ったという認識が弊社社長にございますので、お住まいになった方々が全員賛成となった場合に、当社としてはじめて協力いたします。ですので、お住まいになった方がひとりでも賛成できない場合には、弊社としてはご協力できないということをはっきりと申し上げたいと思います。弊社が最初に協力した「トキワ荘のヒーローたち」モニュメントをつくった際は当時の文化観光課長が4年がかりで全員を説得頂きました。説得できましたということを持ち帰られたので、弊社としてご協力させて頂きました。お住まいになった方全員のイエスがないと弊社としてご協力できないということ

を今日のはっきりと申し上げておきます。

委員A： ありがとうございます。創りたいからと言って無理やり協力してもらうのも変な話になりますので、そこは失礼の無いようにしなければいけないと思います。確かに仰るように、皆さんいらしてのトキワ荘ですし、全員の賛成は難しい部分があるかもしれませんが、そのように賛成を頂ける施設にしなければいつか綻びが出るとも思いますので、頑張らなければと思います。

委員E： 私はいつも、トキワ荘という名前を忘れてくださいと話します。作るのであればマンガミュージアムを作ってくださいと話します。それで、ミュージアムの由来を聞かれた際にはじめて「ここにトキワ荘があったからです」と伝えるというふうに、考え方を変えたほうがいいんじゃないかという部分もあります。また、私は今杉並アニメーションミュージアムにありますが、そこには収蔵庫はありませんので、困ることもあります。寄贈品を収蔵するところがないので、やむなく寄贈を断ることもあります。ですので、収蔵機能はあるほうが良いと思います。アニメですので上映するもの、展示するものをまとめて借りて、そしてお返しします。

委員F： 手塚先生がいらっしゃったからトキワ荘が重要な場所になりました。しかし、一般の方々はマンガ家の梁山泊といった程度のことはご存知ですが、どういう活動がトキワ荘でなされたか、なぜ魅力的な場所になったのかまではご存じないと思います。ですので、最低でもトキワ荘にいらした方々の活動の記録、トキワ荘の歴史、なぜトキワ荘というものが好感をもって世の中に広まってきているのか、正確な史実は恒常展示していただきたい。簡単なものでもよろしいです。キャラクター等も必要ありません。だれが見てもわかりやすい、史実を作ってください。また、居室再現や、外観再現については、当時の居室や外観に追加的な展示等は何も付け加えないで、当時のまを再現してほしいと思います。

委員H： 私は石森さんのアシスタントとして3年ほどトキワ荘に通っていました。そして今、部屋を再現するという話を聞いていて、各先生の在りし日の部屋を10個復元して、月ごとに作品の模様替えをしてほしいと思いました。そうすればリピーターも増え楽しめる展示となります。パリの日本文化会館で講演した際や、山形県酒田市の展覧会での講演の際など、トキワ荘についての話をして下さいということがよくあります。今回の整備についてはとても喜んでるので、できることは何でも協力したいと思っています。

委員I： 意見というより、期待を述べさせていただければと思います。というのも、マンガの聖地としてのプロジェクトであるということに期待しております。いまだに、ほかの国の追随を許していない、圧倒的なパワーをもっているものが日本の文化がマンガですので、期待しています。また、回遊性という意味で、原点回帰をしたあとにアップデートという意味で、現在の池袋界限を全体的に楽しめる施設として頂ければと思います。

委員L： トキワ荘を彷彿させるということで、木造のテクスチャーが実現できるのか、そして昭和の建物のスケールをどのように再現できるのかが心配です。また、展示+アルファの要素をどうするのかということが重要だと思います。そしてマンガランドの事業は既に始まっていますので、お休み処と、3つの繋がりがどのようになっていくのか考えないとうまくいかない。これを南長崎全体にどう響かせていくのかが大きな課題と考えます。

委員M： 私は南長崎の住民です。町の活性化には本施設は絶対に必要です。私は小学生にワークショップでマンガの描き方、見方などを教えています。ぜひ、子どもたちに施設を開放して、マンガの文化・世界を知ってほしい。その成果としていいまちづくりができるのではないかと考えます。それが教育の一環にもなります。子どもたちはマンガが大好きで、モニュメントのレオ

とライヤも大好きです。ぜひ豊島区全体の中での一環として盛り上げていきたいと思ひます。

委員N： うちの商店街はお店が減ってしまいシャッター街になっています。トキワ荘があつた当時はいっぱい人があふれていましたが、今はさびれています。これを機に商店街に戻ってきたいという人がいればいいなと思ひます。また、先日の地域住民への説明会はありがとうございました。地元の方々の話も聞いてやっていきたいと思ひます。

委員O： 記念碑を8年前につくつた際、当時の文化観光課長とすべての先生を説得した経緯があります。3年前に「マンガの力展」が現代美術館であつたとき、3分の2のトキワ荘復元が話題になりました。やはり、トキワ荘復元はそれだけ象徴的なものだと思います。トキワ荘復元は、地域としても先日の説明会でも誰も反対するものもありませんでしたし、ぜひ進めていっていただきたいと思ひます。また、資料1-3について、進行中のモニュメントの整備計画の先にミュージアムがあると理解しています。今年の12月以降のモニュメント整備の計画が決まっていますので、まずそのモニュメント整備について決めて頂き、その先に本施設があるという進め方をして頂きたい。先ほどから、収蔵の問題ですとか、権利の問題ですとか、いろんな問題があると思ひますけれども、メディアも入り話題性のある事業ですので、ぜひよろしくお願ひ致します。

委員P： 平成に入ってから、皆で署名してトキワ荘復元について議会にあげたことがありました。当時は小学生、現在70歳くらいの方が地元にたくさんいて、大変盛り上がりました。しかし、今の小さな子には、トキワ荘がどのような雰囲気、どのような情熱があつた場だったのかあまり伝わっていません。このようなミュージアムができれば、マンガの力やモノをつくる力を知り、一生懸命やることの大切さを学び、次の発想が生まれるかもしれません。若い人がモノを作ることに關して、先人に学ぶ施設になれば、こんなに良いことはありません。非常に期待しています。

ワザハ-A： 先程から、マンガランド事業の地図を見て何か足りないものはないかと探していました。そこで、手塚治虫先生が神様なら、神社が必要ではないかと思ひました。神社はやはり人が通いますから、そのようなアイデアも出していきたいと思ひます。

ワザハ-B： マンガジャパンにも、トキワ荘の先生方に大きな影響を受けたマンガ家も多くおりますので、大変期待しております。トキワ荘の見た目を復元するということは、トキワ荘について伝え聞いたことを実際に目にできるという点で、大変重要な意味を持つと思ひております。私自身も、「トキワ荘物語」を繰り返し読んだ人間ですが、その当時は実物を見ることは叶いませんでしたので、実際に目にできることをとても楽しみにしております。

委員A： 皆様ありがとうございました。これで一巡しましたが30分ほど余っております。この企画が出てから色々な方からご意見を頂戴します。その中で南長崎の關連施設でジャングル大帝のレオとライヤは立像、ゼロくんはパネルであるのが、何故統一されていないのかというご意見がありました。こちらは、それぞれの先生のご意向を汲んで、そのような展示となっています。このように、時に誤解も生まれることもありますので、過去の経緯もわかる内容を資料に含めて頂けるとありがたいなと思ひます。委員の皆さまのご意見も、漏れがあつてはいけませんので、書面等でいただけたらと思ひます。それではあらためて皆様、何かご意見ありますでしょうか。

委員F： 詳細な内容に關しては、いつの段階で意見することができるのでしょうか。

委員A： ご意見はいつでも頂ければと思ひます。書面に残る形で文化観光課までご意見頂ければ、事務局が項目ごとに整理して委員会に反映できるかと思ひます。

委員F： 復元に関しては、やはり当時のままを再現してほしいです。ノボリをかけたり等はやめてほしい。また、他の空き部屋や、1階の展示室や催し物の部屋など、居室や台所についてはどこまで来館者が入れるようにするのか今後検討が必要です。とにかくできるだけ当時のまま、手を加えないようにできればと思います。

委員A： 先生方がいらした部屋をやはり見たいですね。そこで、当時の原稿の復元物が置いてあり、まさに切迫原稿などが置いてあると嬉しい。タイムマシーンに乗ったかのような気分になれるような施設としたいですね。当時の社会情勢がわかる展示や、作品展示などは、面積的な場所が限られているので難しい部分はあるかもしれません。また、個人的には、博物館要素も大事ですが、あの時代にマンガを描くという事と、あの時代の若者たちの熱意、日本でマンガが発展するにあたり、世界に類を見ない常識を打ち破るようなマンガを描いていったこと。それらをどう伝えれば現代の人たちに伝わるか、ということがとても重要なことだと思っています。資料館的な要素や発信要素もあればいいと思うので、ゆくゆくは公園内の敷地にまた何か追加的に建てることできればと思います。

委員H： 4畳半の部屋10個の内装を、個性を出しつつ模様替えできれば、来館者は満足してリピーターになるのではないかな。墨汁一滴という貴重な同人誌の肉筆があるので、レプリカを作り、玄関上の8畳に展示できないか。例えば、レプリカを2つ作り、ひとつは展示、ひとつは触らせるなどもいいと思う。また、「漫画少年」をデータベース化して読めるようにするのもいいのではないかな。1階は全部間仕切りを取り払って食堂などにすることも考えられる。先生のお墓のある雑司が谷までバスで巡れるような仕組みも後々作れるかもしれない。ブラッシュアップしていけば、世界に発信できる施設になる。単なるミュージアムではなく、個性ある独特なトキワ荘にしてほしい。

委員A： 作品のレプリカを作る場合には著作権処理は必要になってきます。もし作るとなれば、しっかりと許可をとってやっていきたい。先がどうなるかはまだ決定している訳ではありません。前向きに考えて、いいものができれば記念碑的な場所になると思っています。

委員A： 時間となりました。皆様のおかげで貴重なご意見を頂戴できました。本日はありがとうございました。

高野区長： 最後に一言よろしいでしょうか。本件は今までの悲願です。最初は南長崎3丁目の中だけでの話でしたが、皆さまの熱意でここまで盛り上がってまいりました。皆様とともに前向きに進めてまいりたいと思います。

事務局： 区長ありがとうございました。それでは事務連絡いたします。次回日程は、10月上旬を予定しています。

【次回日程調整】

委員A： 次回は10/7（金）の19:00～21:00といたします。本日はありがとうございました。

以上

<p>提出された資料等</p>	<p>【資料】 資料1-1 (仮称)マンガの聖地としまミュージアム整備検討会議委員名簿 資料1-2 平成 28 年度の審議スケジュール(案) 資料1-3 南長崎マンガランド事業関連施設図 資料1-4 オープンまでのスケジュール(案) 資料1-5 施設整備予定地 豊島区立南長崎花咲公園の図面 資料1-6 (仮称)マンガの聖地としまミュージアム 施設整備の基本的な考え方について 資料1-7 (仮称)マンガの聖地としまミュージアム 施設整備に向けた論点について</p> <p>【参考資料】 参考資料1-1 (仮称)マンガの聖地としまミュージアム整備検討会議設置要綱 参考資料1-2 マンガに関する主要な博物館の機能及び先行事例について (青梅赤塚不二夫会館、新潟市マンガ・アニメ情報館)</p> <p>【冊子】 冊子 トキワ荘等に関する基礎調査</p>
-----------------	---